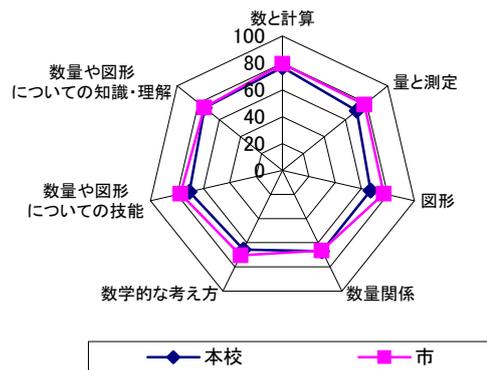


# 宇都宮市立西原小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	76.7	79.4
	量と測定	70.6	77.9
	図形	66.7	76.8
	数量関係	66.7	66.2
観点別	数学的な考え方	65.6	70.2
	数量や図形についての技能	70.6	77.1
	数量や図形についての知識・理解	74.0	74.4



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、宇都宮市を下回っている。3桁×2桁の計算や3桁÷2桁の計算で誤答が見られた。</li> <li>億や兆などの大きな数を正しく表したり、概数に対応する数の範囲の理解が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数と計算では、繰り返し指導していくと共に、位をそろえて正しく計算できるようにする。</li> <li>概数では、どこを四捨五入してよいか記号でしっかり押さえたり、対応する数の範囲を図などに表して考えさせたりする。</li> </ul>
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、宇都宮市を下回っている。分度器の中に示された角の大きさを測り、角度を求めたり、複合図形で面積を求める図から式を考えたりする問題で理解が不十分であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分度器の正しい使い方については、引き続き指導していく。また、角が直角より大きいことや180°より大きいかなどをはっきりとらえられるようにする。</li> <li>複合図形で面積を求めるときにどこに補助線が入っているか具体的に考え、数値を記入して考えるようにする。</li> </ul>
図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、宇都宮市を下回っている。球の半径から球の箱の辺の長さを求める問題で誤答が多く見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形に関する用語とその意味をしっかりと理解させると共に、円や球の性質についても繰り返し指導し、定着を図れるようにする。</li> </ul>
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、宇都宮市をやや上回っている。折れ線グラフの任意の点を読み取ったり、二次元表を読み取ったりして、問題を解くことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科や総合的な学習の時間との関連を図り、グラフに表したり表に整理したりする学習に取り組み、さらに定着を図るようにする。</li> <li>整理の仕方では、意味を考えると共に合計の人数が正しいのか、常に考えるようにする。</li> </ul>